

MCS に関する情報収集及び共有

遵守政策 4

1. はじめに

メンバーは、他のメンバーの登録漁船又は許可運搬船が、取締り又は検査対象水域において操業している間、そのような船舶の情報を当該メンバーの MCS 制度を通じて日常的に収集している。同様に、寄港国は、寄港中の船舶に関する情報を日常的に収集している。かかる情報を旗国であるメンバーが共有することによって、メンバーは、これまで以上に自身の義務を果たしつつ、より費用対効果が高く、包括的な船舶の監視が可能となる。

この政策において、全ての委員会には拡大委員会も含まれ、メンバーには拡大委員会の協力的非加盟国（CNM）が含まれる。

2. 政策の目的

この政策の目的は、

- a) メンバー間
- b) 寄港国と旗国であるメンバーとの間
- c) 事務局との間

の MCS 情報の共有を促進することである。

3. 政策提言

全てのメンバーは、以下に掲げる事項を実施することが期待される。

- a) 他のメンバーの国内漁業当局及び事務局との迅速な MCS 情報の共有
- b) メンバーが SBT 管理体制の完全性を確保するために希望する情報についての寄港国への通知

日常的な航空機による取締り、港での検査、洋上検査及び市場監視又は調査から得られた情報は、関連する旗国であるメンバー間で共有されることが意図される。メンバーは、非遵守の可能性を示唆する情報を受領した際はこれに対応し、また、実施した対応についての情報を、情報提供者であるメンバー又は寄港国に対して通報することが期待される。

費用対効果の高い情報共有を実施するため、遵守委員会は以下に掲げる事項を実施する。

- a) メンバー及び寄港国によって収集及び共有される MCS 情報の特定
- b) 当該情報を収集及び共有するための標準化フォーマットの勧告

- c) 情報のセキュリティ及び機密性を確保するための指針の勧告
- d) 事務局に対して、事務局が受け取る可能性のある情報に対して定期的な分析を行い、そしてあらゆる傾向又は不自然な変化について報告を行うよう要請

メンバーは、既存の MCS ネットワークに参加することが奨励される。これには、既存の二国間の取決め及び国際的なネットワーク（例：国際的な監視・管理・取締りネットワークなど）に基づくものが含まれる

長期的には、メンバーと他の RFMO のメンバーとの正式な遵守ネットワークを創設しなければならない可能性がある。正式な遵守ネットワークには、情報提供義務及び受領した情報への応答義務が含まれ得るとともに、公権力の相互行使が含まれる可能性がある。

4. この政策に基づく役割及び責任

主体	責任を有する事項
委員会	<ul style="list-style-type: none">● 政策の承認● 遵守委員会からの勧告の検討
遵守委員会	<ul style="list-style-type: none">● 収集及び共有される標準化 MCS 情報の勧告● 情報のセキュリティ及び機密性に関する指針の勧告● 政策のレビュー及び改訂
事務局	<ul style="list-style-type: none">● 事務局が受領する情報の分析、及び傾向・変化の報告
メンバー	<ul style="list-style-type: none">● 情報共有

5. 政策のレビュー

この政策は、合意の日から 3 年ごとにレビューするものとする。委員会は、それよりも先に、いつでもレビューを指示することができる。メンバーは、早期のレビューを要請することができる。かかる要請は、レビューを求める理由とともに遵守委員会年次会合に提出されなければならない。

6. 承認

この政策は、委員会によって承認された。

委員会議長

日付:

レビューの日付: _____ (ただし、これよりも先にレビューを行う場合を除く。)

DRAFT